

科目コード	N312
授業科目名	母性看護学実習
授業科目名(英文)	Clinical Practice in Maternity Care Nursing
講義室等	実習施設
学科	看護学科
対象学年	3年・4年
開講学期	後学期・前学期
必修・選択の別	必修
単位数	1・1
時間数	45・45
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-4、○看CP-5、△看CP-1
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	森本 眞寿代
授業の概要	母性看護学実習は、母性看護学の一連の科目の総括となる科目である。周産期にある対象を受け持ち看護過程の展開から個別性の高い看護の実践までを行うこと、またライフステージ各期にある対象の特性を理解し、対象に応じた看護のあり方について考えることなどを、個別学習やプレゼンテーション、グループディスカッションを通して既習の学修内容を総動員し、母性看護の基礎的能力を習得する。
授業の到達目標 (学修効果)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受け持ち対象や家族との関わりの中で、自己の母性・父性意識を発展させることができる。 2. 周産期の対象（妊・産・褥婦、胎児および新生児）の特性を理解し、健康の増進または健康逸脱からの回復過程を支援するための計画を立案することができる。 3. ライフステージ各期（周産期を含む）にある女性の生活や健康問題を理解し、対象に応じた健康支援について説明することができる。 4. 周産期医療における看護の役割や、母子に関する社会資源の活用を説明することができる。 5. 母性看護における倫理的行動について理解できる。 6. 実習を通して母性看護について考察し、学習のまとめを行うことができる。
予習復習の所要時間	実習時間90時間
成績評価方法	課題レポート（100%）のうち、60点以上を合格とする。
教科書	「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学②」第14版（医学書院）
参考書	「周産期ナースング」第2版（ヌーヴェルヒロカワ） 「ウエルネスからみた母性看護過程+病態関連図」第3版（医学書院） 「ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程」第3版（医歯薬出版株式会社）
その他	*詳細については臨地実習要項及び実習の手引きを参照すること。

N312

母性看護学実習

令和8年度

授業計画(臨地実習・卒業研究)

		実習内容・実習場所	実習の形態	実習担当者
1	第1週目	1日目：全体オリエンテーション、病棟オリエンテーション、外来オリエンテーション 1～4日目：病棟実習（4日目は事例検討会）、5日目は記録の整理		森本眞寿代 井上ちはる
2	第2週目	1～4日目：外来実習、エンゼル病院の産後の外来見学実習、NICU・GCU見学実習 5日目：最終報告会	・技術演習 ・見学実習 ・発表	森本眞寿代 井上ちはる